



2022年2月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 白 鳩
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 池 上 勝
(コード：3192 東証JASDAQ)
問 合 せ 先 I R 広 報 室 長 池 上 正
(TEL. 075-693-4609)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、当社の所有するキッズ&フレンズ京都 2020(企業主導型保育園)施設(2022年3月31日閉鎖予定)の固定資産を除売却する方針、さらに販売の見込みが低いと想定される商品の廃棄処分を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、保育園施設の固定資産の除売却方針の決定に伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき特別損失を、さらに商品の廃棄処分に伴い特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

なお、この特別損失の計上に伴い、2021年4月13日に公表いたしました2022年2月期(2021年3月1日～2022年2月28日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(保育園施設の固定資産除売却の方針、及び商品の廃棄処分の決定)について

(1) 保育園施設の固定資産除売却につきましては、閉鎖を予定しております2022年3月31日時点での帳簿価格の見積りが可能であること、また、保育園運営におきましては2020年6月の開設から現在に至るまで相当程度の赤字が継続して発生し、当社業績に重大な影響を及ぼしていることから、当期末での計上を実施することといたしました。

(2) 商品の廃棄処分につきましては、同日に公表しております中期経営計画の修正にあたり、今後、安定的に利益を計上できる体質に改革するために、販売の見込みが低いと想定される商品を廃棄処分することで、更なる改善を見込めるものとして、当期末での計上を実施することといたしました。

2. 特別損失の計上について

(1) 保育園の閉鎖(2022年3月31日予定)により、当該固定資産の帳簿価格全額(約47百万円)を特別損失に計上する見込みです。

(2) インナーショップ事業の商品在庫のうち、販売の見込みが低いと想定される商品の廃棄処分に伴い発生する損失見込額(約141百万円)を特別損失に計上する見込みです。

これにより、当社は2022年2月期 第4四半期において、特別損失として約188百万円を計上する見込みです。

3. 業績予想の修正について

上記、特別損失の計上に伴い、通期業績予想を修正いたしました。

なお、2022年2月期業績につきましては、既に公表している計画に対して売上高は計画通り推移しており、営業利益や経常利益は赤字を縮小できる見込みですが、特別損失の計上に伴い当期純利益は赤字が拡大する見込みです。

当社は現在、社内改革の一環として、PB（プライベートブランド）商品の拡充や不採算事業からの撤退による経費圧縮と収益改善等の課題に取り組んでおります。引き続き第51期の黒字化に向けて取り組みを進めてまいります。

2022年2月期業績予想数値（2021年3月1日～2022年2月28日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益(円銭)
前回発表予想(A)	6,200	△110	△140	△145	△21.79
今回発表予想(B)	6,200	△57	△90	△254	△38.25
増減額(B-A)	0	52	49	△109	△16.46
増減率(%)	0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	5,694	△172	△210	△287	△43.16

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上